

歳出総額265億6,444万円

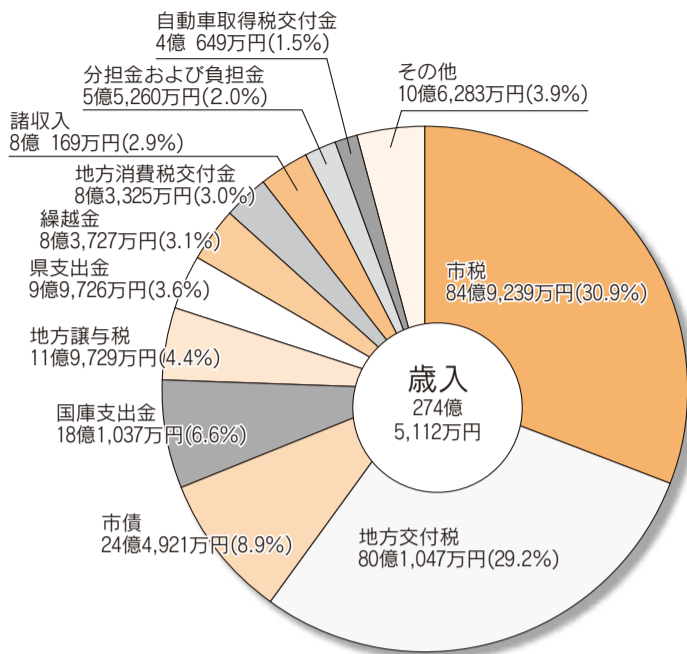
平成18年度決算

市債の年度末残高

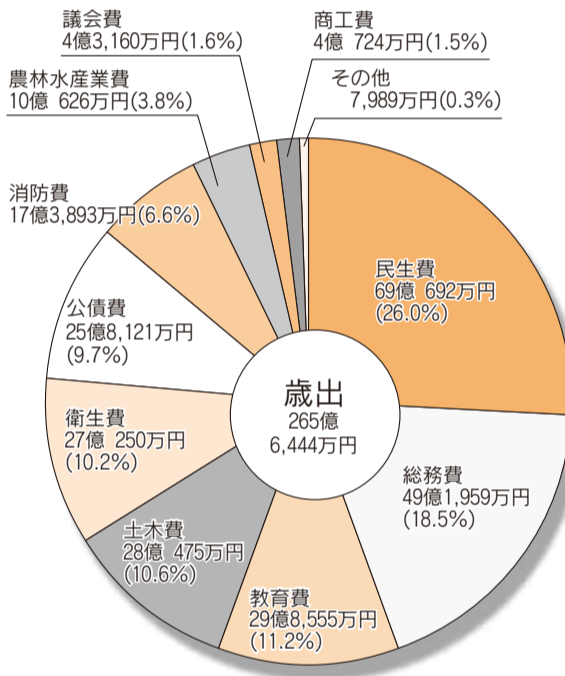
(住民基本台帳人口 87,837人 平成19年3月31日現在)
 ■平成18年度 255億1,350万円
 (人口1人当たり29万464円)

市有財産の状況

■車 両 178台 ■土地 2,217,047㎡
 ■建 物 303,961㎡ ■積立金 45億4,662万円
 ■証 券 126万円 ■出資金 6,730万円



一般会計



市の会計は、大別すると一般会計と特別会計などに分かれています。市の行政運営の基本的な経理が一般会計。平成18年度の一般会計決算額は、収入総額で274億5112万円、支出総額は265億6444万円でした。その結果、歳入歳出差引額は8

億8668万円となりました。収支の内訳を見ると、歳入の主なものは、市税84億9239万円、地方交付税80億1047万円、市債24億4921万円、国庫支出金18億1037万円、です。

歳出の主なものは、民生費69億692万円、総務費49億1959万円、教育費29億8555万円、土木費28億475万円です。学校や道路などの公共施設の建設整備には、一時多額のお金が必要になるため、

市税や国・県支出金などだけでは賄いきれません。また、このような施設は長期にわたって利用するものですから、建設時の市民だけでなく、将来の市民にもその経費を負担していただくことが公平でもあるわけです。そのため、国や県、金融機関などから長期返済を条件で、資金を借り入れていきます。この借入金のことを「市債」といいます。これからも、公共施設の整備を進めるには市債の活用が必要になります。しかし、市債は長期にわたって返済していくので、その増加は翌年度以降の予算にも影響を与えることとなります。そのため、市では慎重に借り入れを行っています。なお、平成18年度末の市債残高は、市民1人当たり約29万円となっています。



町並み環境整備事業で整備された景観形成地区の家屋(佐原区)

公園整備事業で完成したくろへ運動公園(小見川区)

耐震大規模改修事業で補強された山田中学校体育館(山田区)

市道栗源1-2号線橋りょう改良事業で工事された橋脚部分(平成19年度架橋予定・栗源区)

特別会計

	収入	支出	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	91億1,882万円	89億6,049万円	1億5,833万円
老人保健事業	78億378万円	78億378万円	
介護保険事業	38億5,825万円	37億3,122万円	1億2,703万円
居宅介護サービス事業	1億2,140万円	1億2,140万円	
農村地域工業等導入促進事業	877万円	842万円	35万円
農業集落排水事業	2億1,811万円	2億1,746万円	65万円
観光事業	8,509万円	8,509万円	
下水道事業	18億7,991万円	18億7,892万円	99万円
土地取得事業	2,049万円	2,049万円	
火葬場事業	5,689万円	4,944万円	745万円

特別会計と水道事業会計、簡易水道事業会計は、行政をより円滑に効率よく進めるため、一般会計の収入や支出とは別に区分して経理を行っています。平成18年度は、国民健康保険事業、老人保健事業、介護保

特別会計と企業会計

険事業、居宅介護サービス事業、農村地域工業等導入促進事業、農業集落排水事業、観光事業、下水道事業、土地取得事業、火葬場事業の10事業を特別会計で運営しました。また、水道事業会計と簡易水道事業会計は公営企業会計です。

市債残高(平成18年度末現在)

下水道事業債(農業集落排水事業含む)	113億8,506万円
その他事業債	6億6,071万円
上水道事業債	103億4,061万円
簡易水道事業債	14億2,201万円

簡易水道事業会計

収益的収支(収入)	9,172万円
(支出)	1億2,838万円
資本的収支(収入)	3,054万円
(支出)	5,302万円

水道事業会計

収益的収支(収入)	21億6,709万円
(支出)	19億7,996万円
資本的収支(収入)	2億5,371万円
(支出)	10億4,568万円

(不足額は損益勘定留保資金などで補てん)